

祝 松戸市制施行80周年記念

第32回 松戸市外国人

日本語スピーチコンテスト

感謝

2024年2月17日 (土) 13時から

まつどしみんげきじょう
松戸市民劇場

主催
共催
協賛

こうえき ざいだん ほうじん まつど し こくさいこうりゅうきょうかい
公益財団法人松戸市国際交流協会

まつど し
松戸市

こくさい だい ちく だい
国際ロータリー第2790地区第13グループ

まつど まつどひがし まつどきた まつどちゅうおう まつどにしかく
(松戸・松戸東・松戸北・松戸中央・松戸西各ロータリークラブ)

かぶしきかいしゃ どうきょう
株式会社グランバー東京ラスク

ひょうし しょ
【表紙の書】

しょ ひづくり なおみ すいきょうしょどうかい
書: 檜作 直美 (翠京書道会)

かいいん
MIEA会員

ことし かんどう いただ
今年「感動」とさせて頂きました。

こじん ないめん ところ がいめん ひょうげん はじ たが
個人のもつ内面の心を外面に表現することによって初めてお互い
りかい きょうりょく あ おも しょ どうよう かんどう
を理解し、協力し合えるものとおもっています。書も同様に感動が
あるからこそ人に伝わる文字が書くことが出来ると思います。

あら とし む おお かんどう こと いの
新たな年に向けて多くの感動があります事を祈っております。

しかい
■ 司会

ハイチェンコ マクシム
HAICHENKO MAKSYM

こくさいぶんかたいし
(まつど国際文化大使)

しゅっしん
ウクライナ出身)

クアン ティ クオン
QUANG THI CUONG

こくさいぶんかたいし
(まつど国際文化大使)

しゅっしん
ベトナム出身)

■ ボランティア

ちばけんりつまつどこくさいこうとうがっこう せいと みなさま
千葉県立松戸国際高等学校の生徒の皆様

まつどしりつまつどこうとうがっこう せいと みなさま
松戸市立松戸高等学校の生徒の皆様

◇■◇■◇ 次 第 ◇■◇■◇

◆ 開会

13時00分

主催者挨拶

公益財団法人松戸市国際交流協会理事長 伊藤 誠

審査員紹介

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授 小林 ミナ 様

一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事 嶋田 和子 様

成田国際航空専門学校教諭 祖根 セサル 様

松戸市教育委員会学校教育課学習指導課指導主事 伊東 紀彦 様

公益財団法人松戸市国際交流協会副理事長 木川 総一郎

◆ コンテスト

前半の部 — 休憩（15分） — 後半の部

◆ アトラクション

えんじゅ組（えんじゅ・玲央・毅昇）による和楽器演奏

◆ 表彰式

15時30分

来賓挨拶

松戸市長 本郷谷 健次 様

松戸市議会議長 杉山 由祥 様

国際ロータリー第2790地区第13グループ ガバナー補佐 鈴木 悦朗 様

株式会社グランバー東京ラスク 取締役 関根 義雄 様

講評

審査員長 小林 ミナ 様

審査結果発表及び表彰

松戸市長賞

公益財団法人松戸市国際交流協会理事長賞

優秀賞

ロータリークラブ賞

東京ラスク賞

◆ 閉会

16時20分

◆ 懇親会

16時30分 会場：1階 第2・3会議室（17時終了予定）

アトラクション

まつど う まつどそだ
松戸生まれ 松戸育ち

えんじゅ組

えんそうきょくめい
～演奏曲名～

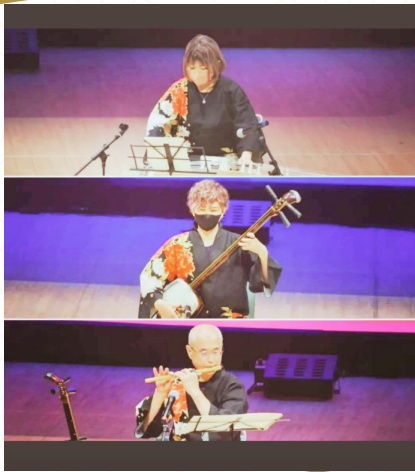
- 津軽じょんがら節 六段より
- 東京音頭 炭坑節
- ディズニーメドレー プラス
- 鼓動



～プロフィール～

わがっき えんそう けっせい ねんめ にんぐみ
和楽器を演奏する、結成4年目の3人組のグループです。

メンバーは、えんじゅ、玲央、毅昇です。



もり まつどしわだいこれんめいしゅさい わだいこ くに ゆうけいぶんかざいきゅうさいとうてい
森のホール21での松戸市和太鼓連盟主催「和太鼓のひびき」、国の有形文化財旧齋藤邸

で「和楽器の調べ」(松戸市国際交流協会・松戸市観光協会後援)、松戸市民劇場で松戸

邦楽会主催の公演などで演奏をしています。また、松戸市民劇団とのコラボ演奏、屋外や

カフェなどの小規模な場所でも演奏活動をしています。

レパートリーは、津軽じょんがら節を中心とした津軽民謡、吉田兄弟のレパート

リー、さらに盆踊り曲から、映画音楽、テレビ番組の主題曲や現代的なポピュラー

曲など幅広く取り組んでいます。

No.	氏名	国	演題	ページ
1	マハルジャン プラミラ MAHARJAN PRAMIRA	ネパール	待たず、 ^{なら} 並ばず	1
2	ティラマン ジェームス TILLAMAN JAMES	フィリピン	好きで ^{きら} 嫌いな日本語	3
3	ルスティシエナ リズカティラー ウタリ RUSUTHISIENA RIZKATILLAH UTARI	インドネシア	インドネシア人が日本で感じる違和感	5
4	ティン ペン ペン ソウ ミン THIN PWINT PWINT ZAW MIN	ミャンマー	日本からもらったもの	7
5	セルゲレン アニル Sergelen Anir	モンゴル	周囲のサポートに感謝する大切さ	9
6	ムケシ ワイシナブ Mukesh Vaishnav	インド	日本での私の旅 - 挑戦を受け入れ、 新たな視点を発見	11
7	ムロドウ ショムロッド シャリブボイ ウグリ MURODOV SHOMUROD SHARIPBOY UGLI	ウズベキスタン	しゅみが1番?	13

きゆう けい
休憩

8	ハク ギケン 白 宜軒	中国	自由な人生についての考え	15
9	マンライバヤル エンフジン MANLAIBAYAR ENKHJIN	モンゴル	ルールは破られるためにあるものだ	17
10	カデュピティグ サンダニ プルニマ KADUPITIGE SANDANI POORNIMA	スリランカ	日本に来て一番困ったこと	19
11	マロン ジェサベル エノット MALON JEYSAH BEL ENOT	フィリピン	もう疲れた?	21
12	ファム ザー フイ PHAM GIA HUY	ベトナム	畑での出会い	23
13	シラジ ノールウル サフィ Sherazi Noorul Safi	パキスタン	希望を持つ大切さ	25
14	キン ヤダナー ウー KHIN YADANAR OO	ミャンマー	かけがえのない人	27

■ 審査は、内容・日本語力・話し方を基準にして行います。スピーチ原稿は応募されたものをそのまま掲載しております。

① 待たず、並ばず

ネパール／MAHARJAN PRAMIRA

(マハルジャン プラミラ)

私は2022年4月に日本に参りました。日本に来てからさまざまな経験をしました。まず、私は日本に来たばかりのころ、免許を取るために免許試験場へ行きました。そこで試験を受け、その日のうちに免許を取ることができてびっくりしました。なぜならば、私の出身地であるネパールでは免許の試験に合格した後、免許をもらうために1年くらいかかったからです。

ネパールでは免許を取るために、まず一日中長い列に並んで試験を受けます。そのあともう1年待ってから免許証をもらうのが普通です。1年待ってやっと免許証をもらうときも、日本のようにはいきません。また長い列に並ばなければならないのです。ですから日本のこのようなサービスはネパールに比べて、利用する人にとって、とても便利だと感じました。

また、日本の市役所で保険証と在留カードの住所変更の手続きを行った際も、時間がほとんどかかりませんでした。わずか5分ほどで終わることができました。このように私は日本ではまだあまり行列に並んだ経験がありません。それに対してネパールでは書類を作成するために長い列に並ばなければならないばかりか、長時間待ったとしても手続きが速く進むことはありません。

例えば、日本に来るための書類を作成したときはとても大変でもう少しであきらめそうになりました。なぜなら私は書類の手続きのために2回事務所へ行かなければならなかったからです。最初に行った時のことです。その日いつも二人職員がいる事務所には職員の人が一人居ませんでした。二人分の仕事を一人でしなければならぬのでとても忙しそうでした。ですから私たちも長い列に並ばなければならぬのでした。結局、事務所の受付時間が終わってしまったので、私はそのまま家に帰るしかありませんでした。その後もう一度事務所へ行きやっと書類を作成することができました。

私は日本へ来たおかげで、日本でのお客さんや利用する人へのサービスがとても速くて印象もいいということがわかりました。日本に来る前も日本は技術的にも経済的にも発展している国だと思っていました。その印象は今も変わっていません。技術的、経済的な発展のお

かげで、様々な書類の作成や手続きも利用者を待たせずにすることが可能なのでしょう。

ネパールでも日本のように書類や免許などをもっと早く取れるようになるといいと思います。ネパールはサービスについてまだ途上国です。ですから、これから発展しなければなりません。そして可能性もあります。現在はネパールの人々も以前よりもサービスや設備について関心をもっています。少しずつですが向上しています。近い将来、ネパールでも日本のように、待たずに、並ばずにサービスを受けられる日が早くきたらいいと思っています。



② 好きで嫌いな日本語

フィリピン／TILLAMAN JAMES

(ティラマン ジェームス)

「あなたの好きな日本語は何ですか」初めて会った先生は出席を取りながら、こう質問しましたが、私は日本が好きなのにこんな簡単な質問に答えられない自分にびっくりしました。「一石二鳥」とか「理解」とか、他のクラスメートは素晴らしい答えを言っていましたが、私は目を閉じて考えても、やっぱり好きな日本語を思い浮かべることができませんでした。でも嫌いな言葉は、アニメのおかげで日本語を勉強し始める前から知っています。それは「頑張る」です。

小学生のころ、生徒会に立候補したことがありました。母とたくさんのチラシを作ったり、夜遅くまでスピーチを練習したりしましたが、落選してしまいました。その時、そのことでクラスメートにすごくいじめられました。物事は頑張れば頑張るほど失敗したときに、かっこよくないということが分かりました。それをきっかけに「頑張る」という言葉は日本語だけでなく、英語でもフィリピン語でも嫌いです。

しかし、来日してから、不思議なことがいくつかありました。

まず、新聞配達のアルバイトでのことです。毎週水曜日、腰を曲げてカートを押しているおばあさんを見ます。その年齢なのに頑張っってひとりで買い物してるなんて大変そうだなあと思います。

さらに学校では眠そうな学生たちがいる時でも、授業に集中できるように工夫して頑張っている先生もいます。

台風の日のことでした。マンションで配達中にエレベーターから老人が降りてきました。私が「おはようございます」と言うと、その人は「お兄さん、よく頑張っていますね。」と言いました。その言葉に私はびっくりしました。そして、エレベーターのドアが閉まると、そこには全身びしょぬれで左手に18部の新聞を抱えた男性が映っていました。それは私自身の姿でした。その時、私も頑張っているということに気がついて涙がこぼれそうになりました。

来日してから私の生活のすべてが変わりました。日本語学校に通いながら、新聞配達のア
ルバイトをしています。毎日午前2時に起きて、天気に関係なく500部ほどの新聞を配達しな
ければならないので大変です。

台風の日が出来事で、私がこれまで無関係だと思っていたことでも、人々はどのような形
でも頑張っているんだということに気が付きました。

今の時代は住みにくい世界になってきました。世界的なパンデミックに始まり、未だ続い
ている戦争、それに伴う物価高の中で人が毎日生きるということは頑張るということなの
ではないでしょうか。

まだ私にとって「頑張る」は好きな言葉とまでは言えませんが、もう嫌いではありません
。成功しても、たとえ失敗したとしても、『頑張ること』は人間の一部であるということ
だと気が付きました。

みなさんは頑張ることは好きですか。それとも嫌いですか。好き嫌いにかかわらず、頑張
るしかありません。みんなでいっしょに頑張りましょう。



③ インドネシア人が日本で感じる違和感

インドネシア/RUSUTHISIENA RIZKATILLAH UTARI

(ルスティシエナ リズカティラー ウタリ)

皆さん、こんにちは。インドネシアから来たウタリと申します。今、まなびや国際語学院で日本語を勉強しています。今日はインドネシア人が日本で感じる違和感について発表したいと思います。よろしくお願いします。

日出ずる国である日本は、その見事な自然の風景、豊かな文化と歴史、そして素晴らしい現代イノベーションで間違いなく有名な国です。それに加えて、日本は世界で最も安全で、清潔で、規律ある国の一つでもあります。

しかしながら、日本に住む多くの外国人は、覚えなければならない日本の習慣が多過ぎて、最初、とても苦勞します。私は日本に来たばかりの時、たくさん間違いをしてしまいました。日本の習慣に慣れるには時間がかかりました。

それでは私が日本に来て感じた違和感について述べたいと思います。まずは挨拶です。インドネシアでは普通、笑顔でHello又は握手するだけです。しかし日本では相手によって挨拶のマナーを考えなければなりません。相手との距離や、お辞儀の角度など、いろいろ気を使わなければならないのは大変です。

2つ目は、仕事についてです。日本人はまじめで良く働くというイメージがあります。しかしながら、日本人は働き過ぎだと思います。インドネシアにいた時、私は仕事で怠け者だったのですが、日本人の同僚と働いているうちに私も日本人のようにワーカホリックになったような気がします。

3つ目、行列についてです。日本人は行列に並ぶのが好きだと思います。私はインドネシアにいた時、長い行列に並ぶのは、ちょっとありえないというような気持ちでした。でも日本では列に並んで順番を待つという事が普通なので、今ではしょうがないと思っています。

4つ目、日本は清潔感をとても重要視しています。私は以前、掃除が好きじゃなかったのですが、今は清潔感を気にするようになりました。

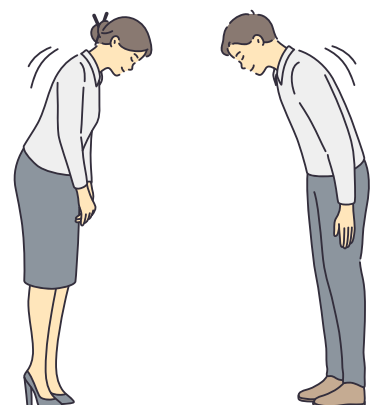
5つ目は時間です。普通インドネシアでは、遅刻してもあまり気にしません。なぜインドネシア人は、よく遅刻するのでしょうか？インドネシア人は起きるのが遅かったり、学校ま

での距離が長かったり、交通機関に問題があったり、渋滞に巻き込まれたりすると、当然のように遅刻します。日本では時間を守ることはマナーの基準であり、子供の頃から教え込まれています。日本が国民の規律の高い国として知られていることは周知の事実です。時間を厳守する日本社会の特質は、国際社会でもよく議論され、日本文化そのものの一部であると考えられています。だから今は私も、いつでも時間通りです。

最後に、インドネシアでは日本は安全な国というイメージですが、実際に住んでみると、そうでもないと感じています。特に都会は人がたくさんいて、ゴミがめちゃくちゃ散らかっています。今、松戸市に住んでいるので日本はきれいというイメージとはちょっと違うと思いますが、地域によって違うのだらうと思います。田舎はもっときれいに保たれているはずだと思います。

インドネシアにいた時に、日本に対して持っていたイメージと、現在、日本に住んでからの日本のイメージは違います。日本とインドネシアには顕著な文化的違いがありますが、それが実際に世界を探検する事をより興味深い事にしていきます。これらの違いを学び、理解することで、私達は自分自身を豊かにし、世界を異なる視点から見ることができます。異なる文化を尊重し、理解しましょう。そして平和な世界を目指しましょう。

以上です。ご清聴ありがとうございました。



④ 日本からもらったもの

ミャンマー／THIN PWINT PWINT ZAW MIN
(ティン ペン ペン ゾウ ミン)

高校生の時に、腕時計が欲しいと父にお願いしたことがあります。父はテストのときにクラスで1番になったら買ってあげるよと言いました。腕時計は欲しいし、もう少し頑張ったら点数が上がるのはわかってはいたけれど、私はあきらめて友達と遊びました。やってみてもいないのに、「大変だ。無理だ。」と言って、言い訳ばかりしていました。

日本へ来たばかりのころ、ある日、電車に乗ってアルバイトへ行きました。朝6時10分の電車です。ホームで電車を待っているときも、頭の中では暖かい布団のことばかり考えていました。電車のドアが開いたら、すぐに空いている席がないかなとさがしました。でも残念ながら座れなかったので、ドアの近くに立ちました。ふと隣を見ると、重そうなバッグを持った高校生がいました。眠そうなのに、彼女の前髪はきれいに整っていて、立ったまま勉強をしていました。次の日もその次の日も一生懸命勉強をしている姿を見かけました。国にいたときの自分を思い出して情けなくなりました。

また、寿司屋でアルバイトを始めたときに、こんなことがありました。私は厨房で、注文されたお寿司を作ったり、ほかのグループが作ったお寿司をレーンに流したりする仕事をすることになりました。そこで「生ビールお願いします。」と大きい声を出して、元気に働いている男の人を見ました。その人は忙しくて大変なはずなのに、笑顔です。でもマスクと帽子で顔ははっきり見えません。30分休憩のときにその人からあいさつをしてくれました。

「山田です。75歳です。よろしくね。」

私はびっくりしました。75さいのおじいさんなのに、あんなに元気に笑顔で働いているからです。

「仕事は大丈夫？大変じゃない？」

と山田さんに聞かれました。私はいつも友達と「アルバイト、大変だね。」と話していました。でも75歳の山田さんには大変だと言えなくて「はい、大丈夫です。」と答えました。

私は山田さんと話したあと、年齢というのは問題ではなく、やる気が第一だと思いました。以前の私のようにやってみないで言い訳ばかりしていたら、簡単なことも難しくなるか

もしれません。

日本に来る前の私は3人兄弟の長女なのに、子供っぽかったです。いつも朝早く起きるために母が目覚まし時計になってくれていました。学校が終わったあと、家事も手伝わないで友達と遊んでいました。夜になると疲れたからと言って、勉強しないですぐに寝ました。

でも日本に来て6か月たって、私は変わりました。朝5時に起きてアルバイトへ行ったり、勉強したり、自立した生活ができるようになりました。私は日本へ来ないで国にいたら、朝早く起きるといふ小さいことさえもずっと親に手伝ってもらっていたかもしれません。以前は言い訳ばかり言っていた私ですが、今はどんなに大変でも家族に電話するときは、「私のことは心配しないで。大丈夫。」とすることができるようになりました。私は家族に助けてもらうよりも、家族のことを助けてあげたいと思うようになりました。

日本へ来てやる気をもらいました。そして、言い訳をしないで頑張るといふことを教わりました。この6か月で変わったことがたくさんあります。これからもどんどん成長していきたいと思います。



⑤ 周囲のサポートに感謝する大切さ

モンゴル／Sergelen Anir
(セルゲレン アニル)

今日このように私が元気でいられるのは、私の周囲のサポートがあったからです。このスピーチでは感謝する大切さを具体的な経験をもとお話したいと思います。

2020年の4月私は初めて日本を訪れました。日本語についてはまったくと言っていいほど知りませんでした。すぐに私は公立の中学校に通うことになり、これから何が起こるのだろうと緊張したのを覚えています。登校初日、前の日に練習した自己紹介をしたところ、大きな拍手で迎えられ少しほっとしました。一番後ろに座り担任の先生の話がありました。先生は私についてたくさんのお話をしているのは感じましたが、残念ながら何を言っているのか私は全くわかりませんでした。休み時間になるとクラスみんなが私の方に来てくれました。英語でたくさんのお話をしてくれたり、腕相撲をしたりしました。腕相撲では私はチャンピオンになりプレゼントをもらいました。帰りにはみんなや先生たちが「じゃあね」と言ってくれたので、私もそのまねをしました。私の日本語のレベルはその程度でしたが、みんなは私に本当に良くしてくれました。その時の感謝の気持ちはこれからも忘れられないでしょう。このように初めての学校生活が始まりました。

その日から一週間たち私はサッカー部に入ることになりました。私はモンゴルで8歳の時からサッカーをしてきましたが、モンゴルのサッカー部と日本のサッカー部は全然違って驚きました。ひとつはモンゴルではサッカーの練習は体育館でやりますが、日本では大きなグラウンドで練習することです。そしてもう一つは日本では毎日サッカーの練習があるということでした。でもこの厳しいサッカー部の練習を毎日一生懸命やったお陰で、船橋市で優勝することができました。このサッカーを通して忍耐力がついたのもチームメートの励みがあったからです。またチームワークの大切さを学ぶこともできました。

日本語の方も最初はわからなくても友達のお話をよく聞いたり、できなくても先生が黒板に書いた漢字をノートに写したりして学びました。また週2回来る日本語の先生と放課後勉強したりして、日本語を学んでいました。このように中学校に入ってから一年間でかなり日本語が上達し高校受験も乗り越えました。これも多くの人のサポートがあったからと感謝して

います。

そして今でも高校で授業や部活動、そして放課後を多くの友人や先生のサポートがあり、充実した生活ができているのだと思います。常に周囲の人たちへの感謝の気持ちをこれからも持ち続けていきたいと思っています。



⑥ 日本での私の旅－挑戦を受け入れ、新たな視点を発見

インド／Mukesh Vaishnav

(ムケシ ワイシナブ)

皆さん、こんにちは。本日は、外国人としての日本での生活体験についてお話しします。日本に来た当初、仕事では英語が必要ないにも関わらず、英語がほとんど使われていないことに驚きました。「言葉の壁」を乗り越えるため、日本語学習を決意。挑戦は始まりました。

日本語を学ぶ過程で、アニメをたくさん見ていました。その結果、「きさま」や「このやろう」といったアニメ特有の言葉をよく使ってしまい、現実の日本語とアニメの日本語の違いに気づくのに時間がかかりました。この経験は、笑いとともに、言語学習の面白さを教えてくれました。

スポーツやジムへの興味を生かし、新しい友達を作ることができました。サッカー、クリケット、ジムでのトレーニングを通じて、多くの日本人と交流し、彼らの助けを借りて日本語を上達させることができました。

日本でベジタリアンとして食事するのは一苦勞です。しかし、それが意外な発見へとつながりました。ベジタリアン対応のレストランや日本の伝統的な精進料理を発見し、新たな味覚の世界が開けました。

これらの経験は、私の視野を広げ、日本の文化について多くを学ぶ機会となりました。日々の小さな挑戦が、大きな自己成長につながります。日本の生活は私に多くを教えてくれました。

言葉の壁や食文化の違いを乗り越え、異文化理解の大切さを実感しました。結論として、異文化交流の素晴らしさと、それがもたらす無限の可能性について、皆さんに伝えたいと思います。



⑦ しゅみが1番？

ウズベキスタン／MURODOV SHOMUROD SHARIPBOY UGLI

(ムロドウ ショムロッド シャリブボイ ウグリ)

日本へ来てもうすぐ2年になります。僕はコンビニでアルバイトをしています。いろいろ知りたいことがあるので、そんな時は日本人にいつも質問をします。なぜ今の日本の若い人たちは結婚したくないのかというのもそのうちの一つでした。

同じコンビニで働いている30代の男性に「結婚したいですか」と質問したことがあります。その人は結婚したい気持ちが全然ないそうです。なぜかという、その人は自分のためにお金を貯めたいからです。結婚したら家族のためにお金がかかるので結婚したくないと言いました。そして、60歳になったら、家族じゃなくてお金が欲しいと言いました。また、27歳の男性に同じ質問をしたときに、その人の答えにすごくびっくりしました。結婚したくないし、子供は邪魔だと思ってしまうからです。その人は結婚したら自分の趣味や好きなことをする時間がなくなると言いました。また、アニメが好きなので将来アニメーターになりたいそうです。

皆さんはコンビニに「一番くじ」というものがあるのを知っていますか。くじを引いて当たった商品を手に入れることができるというものです。そのくじは1回700円ほどかかりますが、自分の好きな漫画やアニメのフィギュアを当てるために、いっぱいお金を使う人がたくさんいます。子供たちもちろんくじを引きますが、1, 2回だけで、自分の欲しいフィギュアが当たらなくてもそこで終わりにします。でも、大人になった男の人たちは自分の欲しいフィギュアのために何万円もお金を使います。それから、アニメのキャラクターになりきるために、化粧をしたり、服や髪型を変えたりしてコスプレをする人たちも多いです。それにもたくさんお金がかかります。

僕は日本へ来てそのような人たちを初めて見ました。私の生まれた国はウズベキスタンです。私の国ではアニメは子供が見るものという考えの人が多いです。もちろんアニメが好きな大人もいますが、そのためにお金をたくさん使う人はとても少ないと思います。趣味にたくさんお金を使う日本人を見て、これが日本人が結婚したくない理由の一つなのかもしれないと思いました。

実際にインターネットで調べてみたら2021年のあるニュースのデータを見つけました。そのデータによると、20代の男性は19.3%、30代男性は26.5%の人が結婚したくないそうです。また、その理由を調べてみました。2021年のある雑誌のアンケートによると、結婚すると自由に時間やお金が使えなくなるという理由が1位でした。そして、女性よりも男性のほうが時間やお金を自由に使いたい人が多いということがわかりました。

僕の国では結婚することは当たり前です。結婚をして家族のため、子供のために時間やお金を使います。結婚しない人はたまにいるけれども、とても少ないです。私の国では亡くなった人がみんなから忘れられることはよくないことだと考えられています。家族がいれば忘れられることはありません。また、老人になったら家族といっしょに楽しく生活をしたいと考えている人がほとんどです。あとは宗教もその理由の一つです。私の宗教はイスラム教ですが、結婚することがとても大切だと考えられています。

でも日本へ来て国や人によって考え方は違うということがわかりました。大人になったら結婚をする。アニメは子供のためのもの。今までウズベキスタンでは当たり前だと思っていた考え方は、日本では当たり前ではありません。それは面白いことだと思いました。ですからこれからも色々な人の考え方を知りたいです。皆さんも自分の生き方や考え方を僕に紹介してくれたらうれしいです。



⑧ 自由な人生についての考え

中国／白 宜軒
(ハク ギケン)

皆様、こんにちは。中国人の白です。どうぞよろしくお願いいたします。

私はね、去年の年末に中国から松戸市へ移動しました。それは日本での二回目の長期滞在です。一回目は留学のためで、今回は仕事のためです。今までは京都と大阪をメインに留学し、そこで住んでいました。旅行が好きで、東京、北海道、大分県、鳥取県など色んな観光地に行って、旅行しました。地域は別々ですが、与えられた感覚はほとんど一緒です。

「どんな感じですか。」皆様はきっと気になるでしょう。「日本人マナーがいい?」、「道が綺麗?」、「環境がいい?」という答えがたぶん今は皆様の頭に浮かんでいますね。確かに日本に来てから、以上なイメージがありますが、今回に言いたいのは「自由な人生」ということです。

ここで論じる「自由な人生」は簡単に言うと、縛られなく、他人のコメントや目線などを気にせず、自分の意志を中心に暮らすということです。

それでは、個人の成長履歴から説明します。中国で、個人の人生も自由ですが、その自由は様々なことに影響され、純粋な自由とは言えません。自分の考え方で生きていますが、その意思決定はたくさんの他人の意思決定が参入されていました。例えば、先生に「いい高等学校で頑張って勉強して、いい大学に進学出来たらいいな」と言われたことあります。いつも両親に「公的機関で就職出来たら、公務員になったら、人生は楽で暮らすよ。頑張って内定をもらったら」と推奨されます。親戚に「変な服装を着ていると、町で歩くなら、みんなに白い目で見られる」と言われました。それ以外も、学生の時には勉強が一番大事、恋をすることはダメと教育されました。現在はもうこの年齢になっていて、さっさと結婚相手連れて見せなさいと言われます。友達にも「一人でごはんを食べるのは気まずいなあ、一人旅は寂しい」などを言います。

皆様が聞いたら、それはただの文句だけじゃと思いますね。しかしながら、確かに今までの人生には、そんな他人の意思決定を考えながら、他人の期待に応えるように、自分の意思

決定を決めました。今でもそうです。ですから、日本人が自由な人生に関する考え方は非常に助かると思います。いい大学じゃなくても、頑張れたことが大事です。一人でも、グルメを食べて、旅行に行っても構いません。他人からどう見られるかではなく、自分自身の考え方で生きることが大切です。

またできないですけど、日本に住んでいるとき、だんだん自分の意思に従い、自由に暮らすことができるようになります。多分母国の環境に離れることも関係あるかもしれませんが、『森の生活』という本にはそんな意味が感じられます。人は家族がいないところですか、本当の意味で生きることができないようだ。

最後に、皆様に「人は自分自身の幸せの考案者である。」という名言を伝えたいです。

以上です。ご清聴どうもありがとうございました。



⑨ ルールは破られるためにあるものだ

モンゴル/MANLAIBAYAR ENKHJIN

(マンライバヤル エンフジン)

「ルールは破られるためにあるものだ」という言葉を聞いたことがありますか。これはルールを守らない人がよく言う言葉です。でも、実際にルールは破られるためにあるものなのでしょうか。その言葉を言う人がたくさんいるモンゴルと、ルールをきちんと守る日本を比べてみましょう。

日本は人が多いですね。モンゴルと比べるとずっと人口が多いですが、モンゴルのほうがもっと混雑しています。それを最近体験したことで説明します。

私は先日、大好きな韓国アイドルグループのコンサートに行きました。3万人以上の人々が来ていて、駅と会場の間を移動する時、身動きが取れないほど混んでいました。それでもコンサートは順調に進みました。まず、トイレに行くとき、みんな長い蛇のように一列に並んでいて、だれも列に割り込んだり、他の人を押ししたりしませんでした。

日本人にとってこれは当たり前のことでしょう。それにひきかえ、モンゴルだったら一列はどこかで、二列、三列になり、自分の番を待つ列から、「誰が一番速く目的地に着くか」のレースになってしまいます。そこではもちろん「人を押ししてはいけない」「列に割り込んではいけない」などのルールがありません。

そして、コンサートの撮影は禁止されていました。みんなせっかく好きなアイドルのコンサートに来たのだから撮影したかったでしょう。肖像権などの問題もあると思いますが、みんなが撮影したら見るのに邪魔になって迷惑もかかるでしょう。ですから、みんながルールを守っていました。帰る時も会場内はゴミもほとんどなかったし、人もあんなに多かったのに一切混乱も起こらずに駅までたどり着きました。

モンゴルではこのように人が大勢集まる場所ではルールが破られることが多いです。交通ルール守らないせいで起こる事故でけがをするだけでなく、命を失う子供たちのことは言うまでもありません。

日本人は自分がルールを守れば他の人もルールを守るということを認識しています。もちろん日本人の中でもルールを守らない人たちがたくさんいると思います。けれども、日本人

はルールを守らない人を見るとお互い注意し合います。それに対して、モンゴルでは、「あなたがルールを守らないなら、私も守らない」と思う人が多いので、何をしても混雑するし、混乱も起こります。そして、その混乱の中で、ルールを守る人の方が損をします。何でもルール通り、順調には行かない所でルールを守り続けることは難しいです。そこでたくさん人のルールを破る人の行動にたえかねてルールを破るようになった人を責めるのは難しいです。とはいえ、みんながルールを破り続ければいつになっても混乱がおさまらないということをみんなが自分のこととして考えるべきです。

ルールは好きなことを安全に楽しめる環境を作るためのものなのです。ですから、モンゴル人の「ルールは破られるためにあるものだ」という人たちにルールの大切さをわかってほしいです。そうしてこそ変化を引き起こせるのではないのでしょうか。



⑩ 日本に来て一番困ったこと

スリランカ／KADUPITIGE SANDANI POORNIMA

(カデュピティグ サンダニ プルニマ)

私は、日本に来て一番困った経験をお話ししたいと思います。

初めて日本に来た時、これは何だろうと思ったことがたくさんありました。中でも特に発音を聞き分けるのはとても難しい事でした。さらにその中でも、答えるときに「うん」「ううん」と言っているのが本当に分かりにくかったです。外国人の皆さんは日本人が「うん」とか「ううん」と答えるのを聞いたことがありますか。そして、どちらの返事なのかちゃんと分かりましたか。

私は今ラーメン屋さんで働いています。ある日、私はあるお客様のオーダーをお取りしました。その方は「塩ピリねぎラーメン」とトッピングの「白髪ねぎ」を頼まれました。「塩ピリねぎラーメン」というのは唐辛子が入っている辛いラーメンです。一方、トッピングの「白髪ねぎ」は唐辛子が入っていないものです。私はお客様に、「白髪ねぎも、ピリねぎにしてもいいですか。」と聞いてみました。するとお客様は、「ううん」と返事をなさったのです…。

実はその時、私にはあまりはっきり聞き取れなくて、「うん」なのか「ううん」なのかよく分かりませんでした。ですが、店はその時とても忙しかったし、聞き返すのも恥ずかしかったですし、それにいつもこのオーダーをする人は、トッピングも辛いのに変えることが多かったのです。だから私は、このお客様も同じだろうと勝手に思ってしまった、確認をしませんでした。

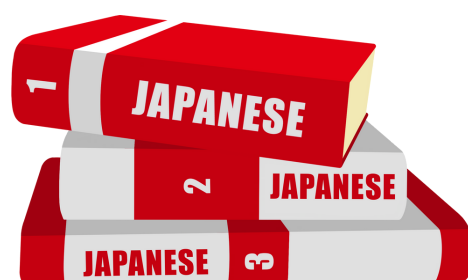
ところがラーメンをお出しすると、突然、「あなたは何やってるんだ」と、大きい声で怒鳴られました。「え？何で？何か間違った？」と、私は大勢のお客様の前でパニックになり、とても困ってしまいました。それで、とにかく私はお客様に謝って、もう一回作り直すことで許していただきました。

あの時は、もし聞き返したりしたら正しい発音を聞き取れないことを知られてしまう。それだけは嫌だと思ったのです。しかし、そのせいでもっと困ったことになってしまいま

した。日本のことわざに、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」というのがあるそうですが、本当にその通りだと思いました。

こんな経験をして、私は、日本で働くためには言葉を正しく聞き取ることが必要なのだと気づくことができました。それと同時に、たとえよく聞き取れなかったとしても、話している人の表情を見れば言いたいことを理解できるのではないか、とも思っています。

私は将来、日本のITの会社で働きたいと思っています。今は日本語の発音が大分わかるようになりましたが、これからもっと日本語が上達するように頑張ろうと思います。



⑪ もう疲れた？

フィリピン/MALON JEYSAH BEL ENOT

(マロン ジェサベル エノット)

新聞配達には大変なことがたくさんあります。どこの新聞を配っているかにかかわらず、仕事に対する文句ばかりよく耳にします。

朝刊の配達から戻ってきた友達は今朝も

「ああ、疲れた。」

「今日、また新聞の量が増えた。」と愚痴を言いました。

実は私も大変だと思います。新聞配達のアルバイトを始めたばかりの頃は、朝刊をまだ半分しか配り終わっていないのに、空はどんどん明るくなっていく、ということが何度もありました。鳴いているカラスまで私のことを「遅い、遅い」と笑っているように思えて、悲しい気持ちになったこともあります。

でも、今日は新聞配達の良い点に焦点を当てて話しましょう。私は新聞配達員として3つの良い習慣を身につけました。

まず、第一に、時間管理スキルが向上しました。

新聞配達を始めたばかりの頃は、生活パターンが大きく変わったため、それに慣れるのにとても苦労しました。特にその日のチラシの量や天気によって、配達を終了時間が定まらないため、食事がとれなかったり、十分に睡眠がとれないこともたくさんありました。今では配達を終了時間も見当がつくようになったので、食事、登校、夕刊の配達、宿題をする時間や睡眠などアラームを細かく設定して、時間管理をすることができるようになりました。

第二は戦略スキルの向上です。

間違えることなく速く仕事を終わらせるには戦略が重要です。配達する新聞には種類がたくさんあります。そのため、どうしたら混同しないか、誤配を避けられるかを考えます。

新聞を配達する際は、『順路帳』という順路、お客様の名前、住所、購読している新聞などが書かれているリストを持っていて、それに従って配達します。ある程度、配達に慣れてきてからは、もっと速く効率的に配れる順路を自分なりに考えて工夫しました。そうすることによって、かなり速く配達を終えることができるようになりました。

最後は体力増強に良いということです。

最初はそうは思いませんでした。バイクで配達するから平気だと思いました。でも、毎日300部以上の新聞を積んで配達する必要があるので、運動になると思います。階段を何段も上ったり、バイクで入れない場所を歩いたり、走ったりすることもあります。

世間に簡単な仕事などないことは皆さんもご存じだと思います。中には仕事がない人も、すぐに辞める人もいますが、仕事を長く続けるため、その仕事の良い点を考え、仕事を楽しんではどうでしょうか。疲れた時や、仕事が嫌になったときこそ、その仕事を始めたばかりの頃のことを思い出して、「あの頃よりは、自分もずいぶんと成長したなあ」と考えてみるのも悪くないと思います。

どんな仕事に就くのも、そんなに簡単なことではありませんからどんな仕事でも仕事があることに感謝する必要があると思います。このような機会は全ての人に与えられているわけではありませんから、最後まで頑張りましょう。



⑫ 畑での出会い

ベトナム／PHAM GIA HUY

(ファム ザー フイ)

皆さん、何歳まで働きたいですか。皆さんの答えは様々でしょう。アルバイトが終わった後で、私はよくバイクに乗って景色をながめています。ある日、80歳ぐらいのおじいさんとおばあさんが元気にいっしょに畑で野菜に水をやっているのが見えました。「えびのように背中が曲がったおじいさんとおばあさん、まだ働いているの？」と思い、動きが止まるほど驚きました。

「どうして？理由は何？かわいそう。普通は年をとった人は家でゆっくり生活したり、孫の世話をしたりするものじゃない？ベトナムのお年寄りはそのだよ。どうして日本人のお年寄りはそんなに苦勞しているの？」そんな疑問が頭から離れませんでした。

その疑問を解くためにインターネットで調べてみました。お金のため、子どもたちに迷惑をかけたくない、、、などいろいろな答えが出てきました。しかし、それは本当でしょうか。私はその時、この答えでは満足できないなと思いました。いったい、おじいさんとおばあさんは何のために働いているのでしょうか。本当の答えを知りたいと思い、直接おじいさんとおばあさんに会って聞いてみたいと思いました。次の日、いつものようにアルバイトが終わってから、おばあさんの畑に急ぎました。けれどもその日、二人の姿は畑にありませんでした。

それから、二人に会おうと、少し時間をずらしたりして畑に何度も行って見ました。そして、二人を探し始めてから3週間たったある日、やっと二人が畑にいるのに出会いました。私は勇気を出して聞いてみました。

「どうして、その年でまだ働いているんですか。インターネットで調べてみたら、お金のためとか、子供に迷惑をかけたくないから、とか書いてあったんですけど、、、。」

すると、おばあさんは大きい声で笑って元気そうに答えました。

「そうよ。インターネットの答えは全部正しいよ。でも人によってね。」

おばあさんは、

「私は生きている時間がもう少ないと気づいたよ。だから、まだ生きているからこそ、意

味のあることをすべきよ。どんなことでもいいんじゃないなくて、やって楽しめることをだよ。」と続けました。

その答えに私は何か大事なことを学んだように感じました。感動して涙があふれてきました。その日までただらしていた私が何か変わったのに気づきました。

それからの私は自分の将来について真剣に考え、計画を立て、次にしなければならないことを考えたりするようになりました。生きる目的もみつけました。

私は4月から大学生になります。大学生活での4年間、目的意識を持って生活しようと思っています。みなさんの生きる目的はなんですか。もし、まだ見つかっていないならちょっと考えてみませんか。自分の人生にはもっと意味がありますよ。



⑬ 希望を持つ大切さ

パキスタン／Sherazi Noorul Safi

(シラジヌールウルサフィ)

「どんなに困難な時期でも希望を失わないでください」これが、私がみなさんに伝えたいことです。私自身まわりの人たちからこの言葉を今までに何回も聞き、逆にイライラしたこともありました。困難な時にそれを言われてもという気持ちにもなりました。でも今はこの言葉がとても大切だと実感しています。その理由をこれから話したいと思います。

私は2015年に初めて日本に来ました。小学校4年生の終わりから5年生にかけて学校に通いました。最初は日本語が「はい」ぐらいしかわかりませんでした。

一年後私は自分の母国パキスタンに帰りましたが、日本で勉強をしたいと強く思い、5年後の2021年11月に日本に来て、再び日本の中学校に入りました。クラスみんなはその時、高校の入学試験の勉強を一生懸命にしていました。私はと言うと小学校の漢字を習っていました。それで私は日本の高校には絶対に行けないと思っていました。当時、先生や親、周り人たちから「希望を失わずに頑張れ」とよく言われていました。私も一生懸命勉強をしていましたが、希望が感じられませんでした。漢字をたくさん覚えても、数学がわかって、まだまだその先が見えませんでした。その時「希望」とは何だろうと考え、私なりにこう結論づけました。

希望とは問題に直面している時、この問題はいつか終わる、そのうち良いことが起こるとただ思う事ではありません。希望とは何が起こるか予測できないが、それでも揺るぎない強い気持ちを持ち続けることだと思います。希望とはたとえ何かを失っても、心は献身的になり続けることだと思います。希望とは、たとえ周りが壊れているように見えたり、不利な状況であったりして心が傷ついていても、諦めないで、進み続けなさいという声が心の中にものだと思います。それで私はそれからは何が起こっても希望を失わず、必ず高校に入学するという決意をもちました。

そして幸運なことに、私は高校生になることができました。自分の結果発表を見たとき、涙が止まりませんでした。その時いつも私を励ましてくれ、「サフィならできる。希望を失わないで。」と言ってくれた中学校の先生のことが頭に浮かびました。

高校入学後、すべての授業を日本語で受けたのは初めてでした。科目の名前も言語文化や現代国語が何なのか最初知りませんでした。そして高校2年生になった現在は、あの「希望をもって」という言葉を思い返し頑張っています。

私たちは常にうまく行くわけではありません。私も日本に来て、学校のテストで点数を取れないときは落ち込みました。しかしそこで泣いて後悔しても仕方ないのです。次回は絶対これ以上取ると決意することが大切だと考えています。

“The future depends on what we do in the present.” これは私の好きな言葉です。これからの事は今この時に何をするかにかかっているという意味です。それには「希望を失わないで」頑張ることが大切だと私は考えます。



⑭ かけがえのない人

ミャンマー／KHIN YADANAR OO

(キン ヤダナー ウー)

今、介護施設でアルバイトをしています。仕事の内容は家族と離れて暮らすお年寄りの日常の介助をするというものです。

仕事の時に入所者の方にいつも言われることがあります。「家に帰りたい」とか「娘や息子に会いたい」などです。そんなとき、私は

「今日はみんなとお泊りですよ。明日になったら帰れますよ。」

とうそをつきます。そうするとうれしそうに笑顔になります。その顔を見ると、悲しくなります。私が働いている施設には子供に一度も会いに来てもらえない方や時々家族のことを思い出して泣いている方もいます。介助すること自体は大変だとは思いません。ただ、「いつ帰れますか」と質問される時や、「家族に会いたい」と言われた時に困ります。私はうそをつきたくないです。

ミャンマーでは子供にとって親への感謝は大切です。親が年を取って何もできなくなったから、仕事で忙しくても親のそばに住んで世話をします。ミャンマーではそれは当たり前のことです。しかし、日本に留学して、ミャンマーとは違うということがわかりました。

日本人はどうして親と離れて親と離れて暮らすのか、介護施設の上司に聞いてみました。日本人は仕事で忙しいので、何もできない親を家に残すのは難しい。お互いが安心できるように施設に入れることになるのだろうと言われました。そして忙しく仕事をして、稼がなければならないのは親のためでもあります。私はその話を聞いて理解しました。

介護施設を利用している人の中には、ずっと親に会いに来ない人もたくさんいます。でも、時々面会の予約をしたいという電話があります。入居者に「今日の11時に家族の方が会いに来ますよ」と伝えると「本当ですか。うそじゃない?」と言って、目を輝かせます。そして、まわりにいる人たちに「今日私の家族が会いに来るんですよ。うれしいなあ」と言います。家族が来ると、にこにこ笑って話して、おいしいお菓子や欲しかったものをもらうともっと笑顔になります。家族と会ったあとも、もらったお菓子をみんなに配りながらかわいい孫のことを話したり、「また来るね」と言ってくれたと、とてもうれしそうにしています。

認知症の方は家族が会いに来たことをすぐ忘れてしまいます。でも、会いに来るとうれしそうです。その様子を見てわたしもうれしくなります。おじいさんおばあさんの笑顔を見たら私の1日の大変なこともなくなります。

日本人は家族のことに仕事の時間をしっかり分けるべきだと思います。子供の時に親がどうやって世話をしてくれたか、色々なことを優しく教えてくれたかを考えてみてください。社会で役に立つ人になれるように世話をしてもらったことを忘れないでください。そして、親が年を取ったら親のありがたさを思い出して、できるだけ親の世話を自分でしたほうがいいと思います。仕事などのために仕方がなく親を施設に入れても、どんなに仕事で忙しくても親のことを忘れないで、寂しくならないように会いに来てほしいです。

親への感謝をいつも思い出し、親のことが自分にとって1番大切なこととして考えてみてください。親は唯一のかけがえのない存在です。



みなさま ねが
皆様へのお願い

- 客席内での飲食は禁止となっております。
きゃくせきない いんしょく きんし
- 携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定してください。
けいたいでんわ でんげん き せってい
- 話している途中での入退場はご遠慮ください。スピーチの合間にお問い合わせください。
はな とちゅう にゅうたいじょう えんりょ あいま ねが いた
- 当劇場は全館禁煙となっております。
とうげきじょう ぜんかんきんえん
- 席を離れるときは必ず貴重品はお持ちください。ご自身でしっかり管理してください。
せき はな かなら きちようひん も じしん かんり
- 非常口は客席の後方2か所と脇に1か所ありますのでご確認ください。
ひじょうぐち きゃくさき こうほう しょ わき しょ かくにん
- 本日のコンテストの様子は当協会ホームページや新聞、テレビ、広報まつどで公開する
ほんじつ ようす とうきようかい しんぶん こうほう こうかい
場合がありますのでご了承ください。
ばあい りようしょう
- 皆様が会場内で撮影した画像、録音した音声の二次使用は法律により禁止されております。
みなさま かいじょうない さつえい がぞう ろくおん おんせい に じ しょう ほうりつ きんし



公益財団法人松戸市国際交流協会(MIEA)

住所 〒271-0092 松戸市松戸1307-1 松戸ビルヂング4階

電話 047-711-9511 FAX 047-308-6789

E-mail : office@miea.or.jp

